SF
SOLID HUMBACKING GUITAR

あのSGが驚いた。
ライトサウンド＆ライトボディを基本に、品番それぞれに独自の個性と機能。
弾き手の感性、高度なテクニックをどこまでもサポートするファンタスティックなモデルたち。

●アルニコ合金マグネット & フェライトマグネットPU
アルニコ合金マグネット採用のSF-7000、5000のPUは、軽く、枯れたマイルド＆ウォームな響きを再現し、ハンバッキングの雄SGと双璧をなす明確なキャラクターをもった通好みのサウンドが特徴。1マイクモデルSF-3000に搭載のフェライトマグネット採用のPUは、攻撃的なフレージングに威力のあるクリアー＆パワフルな音が魅力。

●Tクロスメープル＆ワンピース構造
SG-2000の手法を受け継ぎながら、ボディ厚やラミネート比率を微妙に変えることで、マイルド＆ウォームな独特のライトサウンドの実現に貢献したSF-7000のワンピース構造ボディ。そのニュアンス豊かなサステインサウンド。

●バック＆トップカットボディ
腕、ボディとも軽くスリムにフィットするカッティングは高度な演奏テクニックを活かしきるためのアイデアだ。深いダブルカッタウェイ、やや薄めのネックを得て、ピッキングやフィンガリングもいちだんとスムーズさを増す。

●オリジナルトレモロユニット
ナイフエッジの2点支持方式などヤマハ独自のアイデアが投入されたトレモロユニット。チューニングの安定度がなく自在のアームプレイを実現。(SF-3000) →コラム参照

●白蝶貝のイニシャルインレイ入りヘッド
●最高級ダイキャスト製トルク調整付糸巻
●全機種バイサウンドシステム内蔵→コラム参照

SF-7000
SG-2000の血をひくTクロスメープル＋ワンピース構造。卓越した演奏性とマイルド＆ウォームな響きでプロの要求に応えるソリッドハンバッカーのもうひとつの頂点。マイク＝ハンバッキング×2/コントロール＝ボリューム×2、トーン(プッシュロックSW付)×2、3点SW×1/胴＝メープル＋マホガニー/棹＝メープル＋マホガニー/指板＝ストライプドエボニー/胴・棹＝ワンピース構造/弦＝スーパーライトゲージ/重量＝3.9kg/¥120,000

SF-5000
アルダーボディの特質をフルに弾きだすハンバッキングPUにはバイサウンド回路も内蔵。ロックに、フュージョンに、ライトサウンドが活きるもっともSFらしいSF。
マイク＝ハンバッキング×2
コントロール＝ボリューム×1、トーン(プッシュロックSW付)×1
3点SW×1
胴＝アルダー/棹＝メープル
指板＝ローズ/胴・棹＝セットネック
弦＝スーパーライトゲージ
重量＝3.3kg
¥80,000

SF-3000
1マイク・トレモロユニットつきのシンプルハンバッカー。ソリッドギターのエッセンスを凝縮して、強烈に自己主張するSFシリーズのハーダーモデル。
マイク＝ハンバッキング×1
コントロール＝ボリューム×1
トーン(プッシュロックSW付)×1
胴＝アルダー/棹＝メープル
指板＝ローズ/胴・棹＝セットネック
弦＝スーパーライトゲージ
重量＝3.4kg
¥60,000

3系統のネック接続法
ネックは演奏性の生命線だ。ヤマハは、全モデルとも弦側のR(弧)をR弦側のRよりも小さくとった独特のタマゴ型の断面形状をもったネックを採用。これは、楽器に不可欠の弾き応えを生む地より抵抗感とスムーズなフィット感を両立させるためのアイデアだ。加えて、1フレットの感触が最終フレットまでつながるよう入念に削り出されている。そしてネックの素材、ボディとの接続のしかたのちがいで、それぞれ個性的なサウンドが生まれる。
●セットネック
ハンバッキングモデルに不可欠な伝統的なネック接続法。ネックに用いられる素材のサウンド特性がダイレクトに出やすく、メープルネックはパンチのあるクリアーな音が、マホガニーネックは甘く枯れのある音が魅力だ。ボディとの融合度も高く厚めのサウンドが得やすい。演奏性の面でも、ボディに対してある程度の角度をもたせてセットするためポジションにかかわりなく弾きやすい。セットネックのこうした特性を採り入れて、シングルポピンギターの新たな領域をみせているのがSC-5000、3000だ。

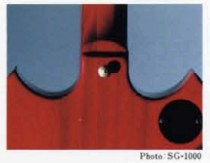


Photo:SG-1000

●デタッチャブルネック
メープルを主材にしたネックをボディにビス止めすることで可能となる、切れのよいアタックな響きと鋭いアタックは、デタッチャブルネック独壇場の世界だ。セットネックがバイオリンをはじめとする弦楽器の伝統的なネック接続法を踏襲したものなら、デタッチャブルネックはエレクトリックギターのために生まれたネック接続法といえる。とりわけシングルポピンPUとのマッチングがよく、またソリッドベースのあのビリビリとくるサウンドには欠かせない。ヤマハは4点固定方式を採用。

Photo:BB-VII

●ワンピース構造
ボディとネックを一体で削出すワンピース構造は、わが国では、SG-2000が初めて実現した手法だ。弦振動が切れ目のないループを描くためエネルギーロスがなく音の伸びもすばらしい。また、硬い木と柔らかな木が一体の振動系として機能するためサウンドの融合性にもすぐれている。ただ、ブリッジを硬い木の上に固定しないとこうしたサウンド特性は大きく減衰される。演奏性のよさ、品質感あふれるルックス、反りや狂いにつよい剛性の高さも魅力だが、ヤマハは楽器的にサウンドを追求し、Tクロスメープルをはじめ随所に創意を凝らしている。

Photo:SC-7000

バイサウンドシステム＆バイサウンドシステムMkII
シリーズ配線によるパワフルなハンバッキングサウンドと、コイルタップによるシャープなシングルポピンサウンドが切り換えできるハンバッキングPUのためのバイ

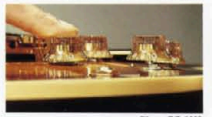
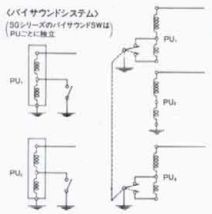


Photo:SG-1000

サウンドシステム。対して、あらかじめ50%増のコイルを内蔵させた特殊回路により、ブリリアントなシングルポピンサウンドとハンバッキングなみのハイパワーサウンドが切り換えできる、シングルポピンモデルSCシリーズに搭載のバイサウンドシステムMkII。しかもヤマハの場合、バイサウンド用のプッシュロックSW(トーンノブに組込んで、リアルタイムの演奏性を飛躍的に高めている。1本で2本分、3本分の音創りが楽しめるだけでなく、リードから瞬時にバッキングへ、あるいはトリッキーな音創りにと、自由度の大きい、ライブでの威力はかり知れないほどに魅力的なサウンド・ファンクションだ。

〈バイサウンドシステムMkII〉
(SGのバイサウンドMARK IIは一個のSWで操作)

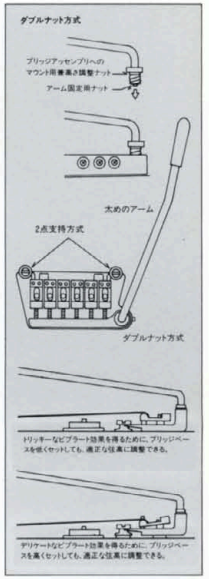
〈バイサウンドシステム〉
(SGシリーズのバイサウンドSWはPUごとに独立)



ヤマハオリジナル・トレモロユニット
SCシリーズ全機種およびSF-3000に搭載された絶賛のトレモロユニット。その性能、信頼性、細心の調整機能。
●ナイフエッジタイプの2点支持方式
ブリッジアッセンブリの支持箇所をナイフエッジにしたスタッドボルト固定による2点支持方式だから、アーミング時の支点移動が発生せず必然的に音程も狂いにくい。さらに、デリケートなビブラートから大地を揺るがすようなビブラートまで、ブリッジベースを上下に調整するだけで目標の効果が得られ、低高しつねに遠正にセットできる。つまり、性能は100%サウンドに還元される。
●アーム取付部のダブルナット方式
演奏フォームや体格によってアームの高さ調整でもだけでなく、締めすぎでアームをねじ切ってしまうなんていう不運の事故も起こらない。

Photo:SF-3000

●やや太め、ヘビイデューティな6ポアーム
アームのたわみがなくレスポンスもすばらしい。したがってアーム効果のレンジもグンとひろがる。
●均一なテンションが得られるヘッド
弦押さえのない、1～6弦まで均一なテンションが得られるマシンヘッドを採用して音程の安定度をより高めている。



ヤマハに使われている木たち
●メープル
硬し、密な木質は芯のあるタイトな音を生み、ソリッドハンバッキングギターのボディトップ材に欠かせない木。ネック材としてもボディの構造や素材、PUのちがいにかかわりなく伝統に用いられるエレクトリックギターの代表的な素材だ。ステージ上のライティング映えも申しぶんのない木地をもっている。
●マホガニー
性質は比較的柔らかく、甘い粘りと艶のある音質が特徴。ソリッドハンバッキングギターのボディバック材やネック材としてひんぱんに用いられる。メープルと並びエレクトリックギターの主力をなす素材だ。
●アルダー
同じ柔らかな性質をもつマホガニーの艶やかな粘りに対し、枯れたブロード感のある音を生みだす逸材。エレクトリックギターのボディ材としては古くから知れていたが、乾燥および製材の工程管理に大へんなパワーを要求されるため、ヤマハ見事に越えた現在でも"幻の素材"と呼ばれている。SF、SC、SJ、BBモデルに採用。
●セン
この素材もまた性質は比較的柔らかくクリアーですなおな音を生み、シングルポピンPUとのマッチングにすぐれている。ソリッドベースのボディ材としても活用され、サウンドイメージにぴったりの木地の美しさも魅力だ。
●ナト一
性質はやや重く柔らかい。コンクリートにも似たガツン、ガツンとくるベースサウンドが特徴のSBモデルのボディ材がこれだ。ステージを圧する破壊力がすばらしい。
●スプルース
性質はすこぶる柔らかく、立ちあがりが丸てふくよかにひろがる眼りなクアコースティックな響きを生みだす。グランドピアノの響板材としても知られる高級素材だ。